



息を 吐き切ってから 吸うことが 大切!!

5月30日の練習

- 発声練習：
- ・息を 吐き切らないと 吸えない。
 - ・コントロールして 吐き切ること。
(コントロールの練習) 4小節を吐き、4小節を吸う。または、8小節を吐き、8小節を吸う。
 - ・ちゃんと吸っていれば、あまく出られないはず。
 - ・鼻から吸って 口から出す。
 - ・上記の事をする事によって、声の質が変わり、ブレスしてから出すまでのスピード感が増すはず。
 - ・後ろ見ごろで歌う。

- 別れの歌：
- ・前向き感を出すために、子音でコントロールして。
 - ・3拍目が、重くならない様に。(さよならー) で1つ。
 - ・(ゆびにふるえるー) の後半2小節で、Bass は、意志を持って動くこと。
 - ・(かたにゆれてるー) で Alt は、1拍目はタイなので2拍目で音が変わる。踏み直すつもりで歌う。
 - ・(またあえるーよろこびのひをー) でブレス、(むねにうかべー) でクレッシェンド。poco rit
次の(さよならー) は f で a tempo。子音は、早めに処理し、母音を長めに。しかし遅くならない様に。文字を1字ずつ読まないで、つなげて言葉として歌う。
 - ・一番最初の(さよならー) は、静かに。一番最後の(さよならー) は、やさしく歌う。
 - ・各パートの音を、もっと向こうの方で合わせる感じ。空間をもっと使って。



- おんがく：
- ・休符も、音楽。
 - ・出だしの(かみさまだったらー) の(か)の子音を、もっと寄り添える感じで。音色を揃える感じ。
 - ・2回目の(かみさまーだたらー) は、もっとクレッシェンド。
 - ・(おんがくをー) は、f で。
 - ・(めもつぶってー) は p p で、(はなのかおりへのようにー) に向かっていく感じで。
 - ・(くちにふくんでー) は m f で、(シャーベットのようひろがってーくるのをー) を m p で、クレッシェンドをかけていく。(そして～ほおずりしていたいー) でクレッシェンド。(そのー) からは、f から f f にしていく。ここは、もっとおしゃべりしましょう。
 - ・(だかれーてー) の(てー) は、きちんと4拍伸ばして。
 - ・p42の(かみさまだったらー) は、p で、あじわいながら、やさしく入る。
 - ・音を持続するときは、持続力がないと崩壊したまま崩れていってしまう。持続力が大切。

- ロマンチストの豚：
- ・とことん可愛らしく歌いましょう。
 - ・(せ一つなくねむる) や、(それっきりなんのたーよりもない) のリズムに注意。
拍数を数えて。
 - ・(ない) ははっきりと。



見学にいらして下さい